

クローズアップ!

知っておきたいビジネスキーワード

経営に役立つキーワードを解説 (10)

監修:大阪経済大学中小企業・経営研究所

解説:田村 俊之

(大阪経済大学中小企業・経営研究所 企業支援担当特別研究所員/中小企業診断士)

今月のキーワード

パーパス経営: 会社の存在意義を明確にする

パーパス経営とは?

企業活動にとって利益は重要ですが、「利益だけが活動目的ではなく、会社は社会に役立つためにある」という考え方が、パーパス経営です。パーパスとは目的・意図・存在意義を意味します。ニューヨークに本社を置く大手資産運用会社のトップ^{※1}が、「企業が継続的に発展していくためには、すべての企業は、優れた業績のみならず、社会にいかに関与していくかを示さなければなりません」と訴えたことが始まりとされています。

※1 BlackRock 社 CEO、ラリー・フィンク氏

パーパス経営の効果は?

パーパス経営の効果として、「従業員の一体感向上・離職防止」「経営者自身の人生の幸福度向上」「自社のブランド価値向上」などがいわれ、中小企業の場合、とくに経営者自身の幸福度向上に大きな意味があると私自身は考えています。世の中や他者の役に立つといった利他的な行動は、人の幸福度を高めます。利他的なパーパスを設定して幸福度が高まると、経営者はますます経営が楽しくなり、従業員にも好影響をおよぼします。経営者の生き方に魅力を感じることで、職場への定着率やエンゲージメント^{※2}が高まれば、従業員のスキルも蓄積され、顧客サービスの向上にもつながることでしょう。

※2 社員と組織が一体となり、お互いの成長に貢献しあう関係

経営者の行動により社員に浸透

大阪にある、社員数 80 人の金属加工会社では、パーパスを「出会えてよかった会社になる」としています。社長に「パーパスをどのように従業員に浸透させているのですか?」と質問すると、パーパスをアピールするのではなく「自身の戒めにしている」というのです。「取引してよかった」と思ってもらえる会社にするため、溶断から、穴あけ、曲げ、開先^{かいさき}※3、溶接と仕事の幅を広げて多彩なオーダーに応えられるようにしたり、専門家の指導により、品質のチェックや改善のスキルを上げました。従業員にも「この会社と出会えてよかった」と思ってもらえるよう、ベースアップや福利厚生の上にも積極的に取り組んでいます。

経営者がパーパスに沿って行動することで、パーパスを声高に言わなくても、仕上げ担当者が「お客さんにきれいと言ってもらうために」製品をていねいに磨いたり、納品担当者が「完成品に傷がつかないように」、しっかりと包装するなど、現場の従業員 1 人ひとりの行動が少しずつ変化していったといいます。

※3 溶接前、接続する面に入れる溝

中小企業では、社長の生き方や姿勢がパーパスの浸透につながります。経営者がパーパスを経営判断や行動の軸にすれば、おのずと従業員に浸透していくことでしょう。